

参考資料

ロゴマーク、キャッチコピーの作成事例



生物多様性とくしま会議

【作成主体】 特定非営利活動法人生物多様性とくしま会議
（事務局：徳島保全生物学研究会）

【コンセプト等】

・徳島県のレッドデータブックに掲載されている絶滅危惧生物をモチーフにし、とくしま会議のまち・里部会、川・海・汽水域部会、奥山・里山部会の取組を表現

【関連ウェブサイト】

<https://www.facebook.com/biodiversity.tokushima/>



札幌市 生物多様性シンボルマーク

キャッチコピーも作成済

【作成主体】 札幌市

【コンセプト等】

・円を地球に見立て、植物、チョウ、ウミガメ、魚、鳥、熊、ウサギ、カエル、人間といった様々な生き物を1本の線で描くことで、地球上の多種多様な生き物の存在とそのつながりを表現

【関連ウェブサイト】

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/mark_catchcopy.html



2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）

【作成主体】 2030生物多様性枠組実現日本会議（事務局：環境省）

【コンセプト等】

- ・官民連携により、自然と社会が調和した社会の実現、生物多様性の主流化を目指す想いを表現
- ・日本の代表的な動物として、生物多様性をイメージのシンボルとして入れている（トキ、ツクノワグマ、ウミガメ、アホウドリ、メダカ、アオスジアゲハ、サケ）。右上の判型は企業、学校、工場、住宅を組み合わせで多様なセクターを表現。左下は海と山、森を組み合わせで豊富な自然を表現。中心の網模様は日本の代表的な三つ組手に倣い、自然とセクターと生物多様性の繋がりを表現

【関連ウェブサイト】

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/about/logo/>



みなかみユネスコエコパーク

【作成主体】 みなかみユネスコエコパーク協議会事務局（事務局：群馬県みなかみ町）

【コンセプト等】

- ・みなかみユネスコエコパークの理念に基づき、みなかみの自然や歴史、文化などを、「まもり、いかし、ひろめる」
- ・みなかみ町の頭文字「M」を形どっている。

【関連ウェブサイト】

<https://www.town.minakami.gunma.jp/minakamibr/info/2017/2017-0724-1029-30.html>



タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

国土交通省

【作成主体】 タンチョウも住めるまちづくり検討協議会
（事務局：国土交通省 北海道開発局 札幌建設開発部、長沼町）

【コンセプト等】

- ・「タンチョウも住めるまちづくり」の取組の普及啓発、取組へ親しみを持ってもらう。
- ・Naganuma（長沼）の「N」をシンボル化した青いラインは、舞鶴遊水地を表現。赤い丸と青いラインはタンチョウを迎え入れる人を表現。羽ばたくタンチョウと、それを迎え入れる人、営巣を目指す舞鶴遊水地を示すことで、豊かな自然に恵まれた長沼町が「タンチョウも住めるまちづくり」に取り組んでいることを表現

【関連ウェブサイト】 <https://compe.japandesign.ne.jp/maoi-net-tantyau-logo-2018/>



関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会

国土交通省

【作成主体】 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
（事務局：国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課）

【コンセプト等】

- ・コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの価値や魅力をさらに高め、取組の認知度を向上させる。

【関連ウェブサイト】 <https://compe.japandesign.ne.jp/ktr-kanto-econet-logo-2018/>

ロゴマークの作成事例（他地域の生態系ネットワーク協議会）



荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

国土交通省

【作成主体】 荒川流域エコネット地域づくり推進協議会
（事務局：国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所）

【コンセプト等】

- ・ 荒川流域の自然と治水が調和した魅力的な地域づくり
- ・ 荒川流域の空に コウノトリを 羽ばたかせよう！

【選定方法】 公募（複数のデザイン案から投票で決定）

【関連ウェブサイト】

<https://sites.google.com/view/anaaportal/%E5%BA%83%E5%A0%B1/data>



斐伊川水系 生態系ネットワークによる 大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

国土交通省

協議会の愛称も公募

【協議会の愛称】

斐伊川水系 水鳥プロジェクト

【作成主体】 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり
検討協議会（事務局：国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所）

【コンセプト等】

- ・ 協議会の取組の普及啓発、協議会の取組に対する愛着の醸成

【関連ウェブサイト】

<https://sites.google.com/view/hiikawa-econet/%E6%84%9B%E7%A7%B0%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%9C%E3%83%AB%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%AF>

キャッチコピーの作成事例

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会 (現：徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会)

【コンセプト等】

- ・協議会の目的を端的に表現できるキャッチコピー
- ・目的1：コウノトリ・ツル類を指標とした河川と取り巻く地域が一体となった自然環境の保全と再生による生態系ネットワークの形成
- ・目的2：コウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現

【関連ウェブサイト】

<https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/report/info30/h310212-1/h310212-1.pdf>

【キャッチコピー】

ツル・コウノトリと未来育む阿波の国

札幌市 生物多様性キャッチコピー

【コンセプト等】

- ・地球上のすべての生き物のつながりと、そのつながりによって広がる生命の強い結びつきを表現

【関連ウェブサイト】

https://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/mark_catchcopy.html

【キャッチコピー】

つながる ひろがる 命の輪

2030生物多様性枠組実現日本会議

【コンセプト等】

- ・産学官民の多様なステークホルダーが連携・協力し、「ポスト2020生物多様性枠組」や関連する国内戦略等の達成に向け取り組む。

【関連ウェブサイト】

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/j-gbf/about/logo/>

【キャッチコピー】

生物多様性のためにできること。
みんなで行動していこう。